

会 議 要 録

名 称	豊橋市地球温暖化対策推進会議
開催日時	平成29年10月2日(月) 午後1時30分から午後3時00分
出席委員数	20人(委員数21人)
出席委員名	宮部年康様(青木良浩委員の代理)、磯部純子委員、岩瀬啓子委員 刑部光弘委員、神谷充委員、北河義彦委員、北田敏廣委員、坂井忠志委員 鈴木拓也委員、鈴木美江委員、滝川浩史委員、竹内延之委員 夏目典佳委員、村上雅之委員、安井広幸委員 小木曾充彦委員、木和田治伸産業部次長(稲田浩三委員の代理) 村田泰祥都市計画課長(加藤修一委員の代理) 山本誠二教育政策課長(加藤喜康委員の代理)
欠席委員名	川西裕康委員
オブザーバー	愛知県地球温暖化対策室 多賀 潤
事務局職氏名	温暖化対策推進室長／三浦正人 主幹／牧野哲也 主査／鈴木薫 担当／白井友理
議 題	(1)豊橋市の温室効果ガス排出量およびエネルギー消費量の実績について (2)豊橋市地球温暖化対策地域推進計画の関連施策の進捗状況について (3)「豊橋市エコアクションプラン」と「とよはしエコマネジメントシステム」 (T-EMS(テムス))について (4)その他
議事の概要	<p>1. 開会</p> <p>2. 委員の紹介</p> <p>3. 委員長の選任</p> <p>4. 議題</p> <p>(1)豊橋市の温室効果ガス排出量およびエネルギー消費量の実績について</p> <p>(2)豊橋市地球温暖化対策地域推進計画の関連施策の進捗状況について</p> <p>(3)「豊橋市エコアクションプラン」と「とよはしエコマネジメントシステム」(T-EMS(テムス))について</p> <p>(4)その他</p> <p>質疑応答(別紙のとおり)</p> <p>3. 閉会</p>

豊橋市地球温暖化対策推進会議 会議録

日 時：平成 29 年 10 月 2 日（月） 13 時 30 分～15 時 00 分

場 所：豊橋市役所 81 会議室

委 員 数：19 人／20 人

○開会

○委員紹介

○委員長選任

○議題

（１）豊橋市の温室効果ガス排出量およびエネルギー消費量の実績について

（事務局から別紙資料に基づいて説明）

委員長：ただいまの説明について何かご質問はないでしょうか。

委 員：表 3 の電力排出係数は愛知県のものか、全国のものか。

事務局：この地域のものであります。具体的に中部電力です。

委 員：生産量や活動量などの原単位という考え方で定期報告書を提出していただいています。

様々な活動要因があり変動があったという報告がありましたが、改定版 10 P 11 P 表 3 表 4 のエネルギー活動量を比較し

て、どうして増えたか考えるとよいかと考えます。

事務局：本市も定期報告をしており、今後どのような形式で報告するのがよいか検討します。

(2) 豊橋市地球温暖化対策地域推進計画の関連施策の進捗状況について

(事務局から別紙資料に基づいて説明)

委員長：ご質問、ご意見いかがでしょうか。

事務局：新しいエネルギーを生み出そうの平成 28 年度は 21 万 kW ならば目標達成できる見込みであると思われませんが、何に効果があったか分析をお願いします。

委員：ほぼ太陽光発電の設置です。特に全量売電です。住宅用については市の補助があるので 3,000 kW 程度は市の補助で普及しました。残り 19,000 kW は事業者様が全量売電で普及しました。

委員長：太陽光が主に寄与したとのことですが。

買い取り金額がどんどん下がっているが統計的にどう変化しているか。

事務局：平成 28 年度が 155,000 kW、平成 27 年度が 132,000 kW 平成 26 年度が 95,000 kW のため、固定価格買い取り制度が平

成 24 年度からですが、価格が下がったため、過去と比べて減ってきています。

委員長：豊橋独自の補助制度は減少を緩和していますか。

事務局：住宅用補助については平成 28 年度と平成 27 年度が 600 件、26 年度は 800 件、25 年度は 1,000 件となっており、買い取り価格減少はあるが、設置が一定は底上げできていると考えます。

委員：ごみの量についてですが、平成 28 年度に大幅に減少しました。668g は中核市の平均より少し低い程度です。これは指定ごみ袋の導入のためかと考えます。家庭系は減少したが事業系が増加しました。家庭の中に事業系のものが入っていたとも思われます。また、どんなゴミ袋でもよかったため、他市から捨てられていたのではないかと思います。また、新聞事業者が回収しているのが他の紙を回収しているのが活発になったのではないかと。豊橋全体でごみ減量しているのは確かです。生ごみの分別も開始しましたので、今後はさらにごみの量が減ると見込まれます。

委員：ごみが減ると燃やす量が減るため、二酸化炭素排出量も減ることに繋がるためとてもよいことと考えます。

(3) 「豊橋市エコアクションプラン」と「とよはしエコマネジメントシステム」(T-EMS) について

(事務局から別紙資料に基づいて説明)

委員長： ご質問、ご意見いかがでしょうか。

委員： 灯油等が増加しているのはなぜですか。

事務局： 一か所非常発電機タンクを新設し、そこに投入したため増加しました。また、資源化センターの炉の点検の増加により、その再稼働に必要なため増加しました。

委員： A重油等について、定期報告の際、炉で燃やした時にCO₂換算しているのか、購入時に換算しているのか。本来は燃やした時に換算するべきかと思う。

とよはしエコマネジメントシステムのみとよはしがひらがなだけがなぜか。

事務局： ひらがなの方が優しいイメージのため使用しています。

現状ではどの時点で報告するかは経産省に確認していないが、いつの時点で使用しているか把握するのは難しいため、購入時期に換算しています。

紙の使用量についても購入時期でカウントしています。

オブザーバー： LED化や空調の改修等とのことですが、豊橋市は今後どの程度LED化や省エネ化できるか、まだ余力があるのかを教えてください。

事務局： 公共施設は年数が経っているものを改修する際にLED化をする余地があると考えます。

委員長：全体を通して何かありますか。

委員：ロータリークラブが植林活動していると思うが、豊橋市との関係はどのようなのですか。

委員：北ロータリーさんについては豊橋駅に大きな木をいただきました。特別支援学校にもくすのきをいただきました。総合スポーツ公園では防災林を植林し緑の量を増やしてきました。枯れたり、自然淘汰されることもあるが、色々な方の名前をいただいて緑を増やしてきたが、寄付をいただいたサインを公園緑地としては残していきたいと考えているとのこと。

委員：取り組みをしているならばロータリークラブに頼むのはどうですか。都市計画部と横の繋がりを持つ必要があるのではないですか。

委員：都市計画部局と相談したいと考えます。公園緑地とよく相談し、温暖化の計画に効果的であるならば前向きに考えていきたいです。

委員：豊橋は緑の多い町かと思われるが、緑比率はどうか。

委員：緑比率について具体的な数字は持ち合わせていませんが、市民の方から寄付を頂き、全国8位程度の市民1人あたりの街路樹の本数です。街路樹も葉が多いものを選び、見た目もいように施策をしています。緑視率という方に考えに変えていく方向です。市民の安全のため、道を横切る時左右が見えない、交差

点は木を小さくするなどの国の施策もあるため、本数が減るため、緑を大きく見せるため、考え方を変えていく施策を続けていきます。

委員：日差しが強いのに隠れる場所がなく、豊橋の街路樹はカットが三角のため、とても暑いです。海岸方面が特に暑い。細かく地域ごとにカットしていただきたいです。車を使わないようにしようという流れなのに、歩いたりすると日差しに干されてしまうので考えてほしい。

委員：交差点や個人の出入り口は大きな木は見通しのため無くなっていく方向です。文化会館あたりの道でも本数が減っています。市内の道は国縣市と管理者が違います。市は枝葉を伸ばす施策なので毎年手を入れています。しかし県は維持管理費が少なく、2,3年に一度しか手を入れられません。先程の委員の道がどこか教えていただければ助言ができますので、教えて下さい。夏の日よけと冬の日差しのため、落葉樹を植えています。

委員：ごみの削減はとても素晴らしいと思います。この目標はどの時点で変わるのでしょうか。今後の目標設定はどうされるのでしょうか。

事務局：目標の設定は、平成32年度までのものとなります。31,32年で改訂するため、それぞれの要素を考えていきます。本計画は環境基本計画とも関連があるため、そちらとも整合をとりながら設定していきます。

(4) その他

事務局：今回の会議の議事録を後日送付いたしましてご確認いただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

委員長：議題等は以上になります。本日の会議全体を通じて何かご意見等あれば事務局のほうへいただければと思います。本日は議事の円滑な進行にご協力頂きありがとうございました。それでは進行を事務局にお返しします。

事務局：委員長ありがとうございました。これで推進会議を終了させていただきます。委員の皆さまありがとうございました。